

## 今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療体制等の整備について

令和2年8月19日  
健康福祉総務課  
健康対策課

## 1 趣旨

現在、行動制限を極力回避することを基本として、「広島積極ガード宣言」(R2.7.21)に基づいて、県民、事業者、行政が連携して感染拡大防止に取り組んでいるところであるが、こうした取組をバックアップするため、PCR検査体制と保健所体制を強化するとともに、感染した場合でも、重症度に応じた医療体制により、県民の命を守り、経済活動を維持していく。

## 2 医療体制等の強化

## (1) 入院医療・宿泊療養体制の強化

新型コロナウイルス感染症患者推計によるフェーズ別病床数等の整備目標に、新たに「フェーズ3」を設定し、必要な病床及び軽症患者等の療養施設(ホテル)を確保する。

## 【フェーズ別病床数等の整備目標】

区 分		フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
推 計	1日最大新規感染者数(人)	—	50	49	64
	最大感染者数(人)	a	330	473	829
	入 院(人)	b	214	307	486
	宿泊療養(人)	a-b	116	166	343
	積極的PCRによる陽性者 <sup>※1</sup> (人)	c	—	314	314
整 備 目 標	入院病床数(床)	(a)	200	320	500
	ホテル部屋数(室)	(b+c)	予約契約 <sup>※2</sup>	500	700
	計	(a+b+c)	—	690	1,200

※1 コロナ患者に対応する医療機関の医療従事者に対して定期的にPCR検査を実施

※2 宿泊療養の稼働前に、感染者の受入れをホテル側が承諾している未契約の状態

フェーズ0…通常期の体制

フェーズ1…第1波における全国平均の感染者が発生し、なおかつ、40人規模のクラスターが3日連続で発生しても感染者を受け入れることができる体制

フェーズ2…第1波において東京都に次いで感染者発生率が高い都道府県と同程度の感染者が発生しても感染者を受け入れることができる体制

フェーズ3…第1波において全国で最も感染者発生率が高い東京都と同程度の感染者が発生しても感染者を受け入れることができる体制

## (2) 特別な配慮を必要とする患者の受入れ体制の強化

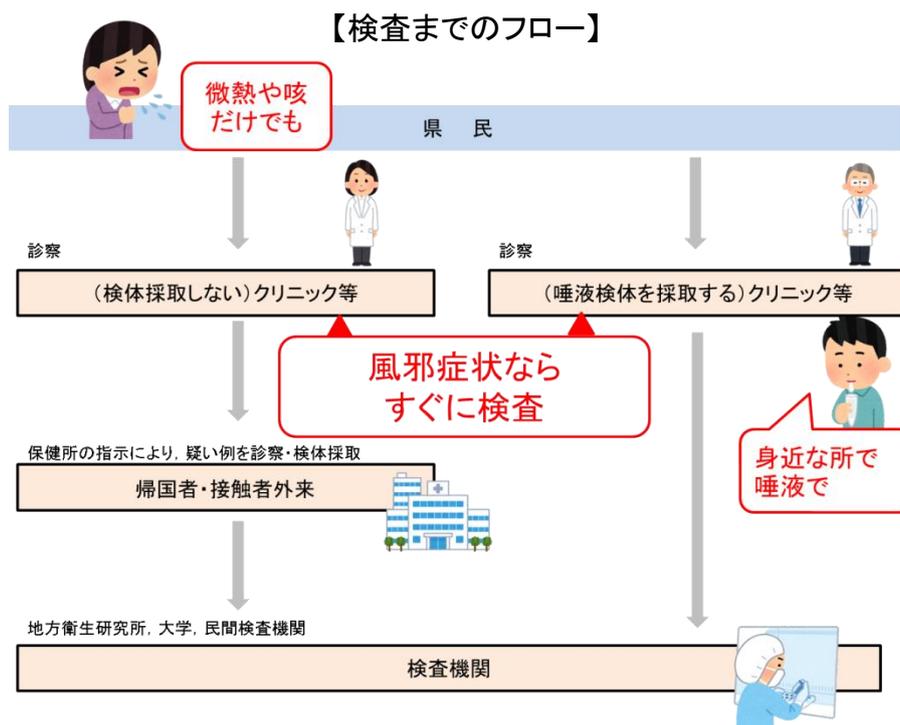
領 域	体 制
救 急 医 療	コロナ疑いの救急患者を必ず受け入れる医療機関を圏域ごとに設定
周 産 期 医 療	妊娠週数や感染症の重症度に応じた受入医療機関を圏域ごとに設定
小 児 医 療	感染症の重症度に応じた受入れ医療機関を設定
が ん 医 療	がん相談支援センター等で適切な相談対応
透 析 医 療	感染症の重症度に応じた受入医療機関を圏域ごとに設定
精 神 医 療	精神症状と感染症の重症度に応じた受入医療機関を設定 [調整中]

### (3) PCR検査体制の強化

PCR検査機器の追加整備を進め、大学との連携や民間検査機関の活用により、検査能力を増強するとともに、自院で唾液検体等の採取を行うクリニック等の協力医療機関を増やしていく。

【PCR検査能力の整備目標】

現 在	年 内	年 度 末
1,550 件/日 (県外検査機関 1,100 件を含む)	1,780 件/日 (県内検査機関)	2,400 件/日 (県内検査機関)



### (4) 保健所体制の強化

保健所が、積極的疫学調査など専門的な知識や経験を要する業務に専念できるよう、業務のアウトソーシングや人的応援体制の整備等により、保健所の体制強化を図る。

#### ① 業務のアウトソーシング

- ・ 保健所を経由せずに検査へ誘導するクリニック等の公募 [8月中に実施]
- ・ 県民からの相談業務をコールセンター事業者に委託 [実施済]
- ・ 感染者の入院調整業務は、県庁内のトリアージセンターが実施 [実施済]
- ・ 情報分析センターを設置し、感染経路等について分析 [検討中]

#### ② 人的応援体制の整備

- ・ 検体搬入や積極的疫学調査の補助業務を行う保健業務推進員の配置 [実施済]
- ・ コロナに関する県民のこころのケアに対応する看護師の配置 [実施済]
- ・ 県・市町の保健師等を対象にした積極的疫学調査に必要な研修の実施 [実施済]
- ・ クラスター発生時に県や市町の保健師が相互に応援 [実施済]
- ・ 保健師登録制度を創設し、クラスター発生時などに専門人材を派遣 [検討中]